

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 140 号	氏名	東 洋一
学位審査委員	主 査	筑波 隆幸	
	副 査	水野 明夫	
	副 査	丹羽 正美	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、サリチル酸誘導体による実験的低カルシウム血症について示したもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 ラットにアスピリンあるいはサリチル酸を経口投与あるいは静脈内投与により低カルシウム血症を誘導し、1) 加齢への影響および、2) カルシウム含有食および非含有食の再摂取の影響についてデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、実験的低カルシウム血症は、骨の成長が止まる高齢でも発症することや、カルシウム非含有食では、再摂取後に強化される等の新知見が含まれており、今後の実験薬理学的研究への進展が大いに期待される。 以上のように本論文は歯科薬理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			